

# 令和元年度 学校評価表

専門学校 ノアデザインカレッジ

1. 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	④ 3 2 1
・教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	④ 3 2 1
・教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	④ 3 2 1
・教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	④ 3 2 1

【成果と課題について】

入学時のオリエンテーションや学校案内などで教育理念や目標を伝えるとともに「好き」を将来につなげる。という明確なコンセプトのもと教職員・学生に周知している。また、アドミッションポリシーやディプロマポリシー、カリキュラムも学内で明示している。

【今後の改善及び学校関係者評価について】

教育理念・目標が明確に示されており。  
今後も引き続き丁寧に教育理念・目標に沿った教育活動を続けていく必要がある。

## 2. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・カリキュラムは教育目標が反映されているか	④ 3 2 1
・定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	④ 3 2 1
・テキストや教材は適切なものを選定しているか	④ 3 2 1
・シラバスが作成され学生に配布されているか	④ 3 2 1
・授業の点検・評価が適切に実施されているか	4 ③ 2 1
・資格試験の合格率は	④ 3 2 1
・資格試験不合格者の対策は	④ 3 2 1
・評価は適切な方法で行われているか	④ 3 2 1
・外部企業との連携により実践的教育活動は行われているか	④ 3 2 1
・目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4 ③ 2 1
・進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	④ 3 2 1

## 【成果と課題について】

産学連携や企業間との連携することで、実務レベルの課題をいただき学生も実践力を身につけることができた。目標に達していない生徒にも個別に指導することでやる気を出し課題作品制作などの後押しをする工夫をしている。

## 【今後の改善及び学校関係者評価について】

資格の合格率は良いが全体的に資格に挑戦する数が年々減っている為資格挑戦へのアプローチが必要ではないか。

## 3. 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	④ 3 2 1
・入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	④ 3 2 1
・募集要項の内容は適切か	④ 3 2 1
・学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	④ 3 2 1
・入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	④ 3 2 1
・志願者状況、定員充足率はどうか	④ 3 2 1

## 【成果と課題について】

広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切である。入学案内には志願者が必要な情報が掲載されておりWEBなどを使用いつでも資料請求が出来る状況である。説明会・体験会なども随時開催することで興味のある学生に対して説明できている。SNSなど活用し募集受入れを強化している。

## 【今後の改善及び学校関係者評価について】

- ・一昨年より定員が満たない為、今後も引き続き募集を強化していく。
- ・オープンキャンパスに参加してくれた学生に本校の魅力を伝え学生の受入れにつなげる工夫をする。

## 4. 教職員組織

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・専任教員は設置基準を満たしているか	④ 3 2 1
・専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	④ 3 2 1
・教職員の業務分掌は明確になっているか	④ 3 2 1
・教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4 ③ 2 1
・教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4 ③ 2 1
・職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	④ 3 2 1

## 【成果と課題について】

教職員の能力や業務内容を定期的に把握するようしており時代の変化に合わせて適宜調整をしている。講師も第一線で活躍する講師を各、授業に配置し業務が滞りなく遂行できる人数を雇用できている。

## 【今後の改善及び学校関係者評価について】

今後も教職員と連携して資質向上のためのシステムを構築するなど検討していく予定。

## 5. 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	④ 3 2 1
・実習設備は整備されているか	④ 3 2 1
・講義室・実習室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1
・学生が自学自習できる教室を有しているか	④ 3 2 1
・教育用機器備品は整備されており活用されているか	④ 3 2 1
・職員室の管理は適切に行われているか	④ 3 2 1

## 【成果と課題について】

各、講義室や実習室は学習をする上で問題なく完備されており、一人ひとり専用のパソコンやソフトウェアを貸与しており最新のバージョンの実習教材を学生に提供している。放課後や長期休暇期間も学生に開放している。専門図書も学生が要望の中で閲覧できる図書棚を用意している。

## 【今後の改善及び学校関係者評価について】

ICTのMOS検定に必要なPCが古くなっているため、次年度以降新規購入しICTルームを新設予定、デジタルやデザイン実習に必要なPCを購入し学生に開放していく。

## 6. 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・奨学金等、経済的支援は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制が整備・機能しているか	4 ③ 2 1
・各学校行事について適切に実施されているか	④ 3 2 1
・防災訓練・防犯の実施は行っているか	④ 3 2 1
・進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	④ 3 2 1
・健康診断など学生の健康管理を行っているか	④ 3 2 1
・保護者との連携はできているか	④ 3 2 1
・新たな求人開拓の努力はしているか	④ 3 2 1

## 【成果と課題について】

就職活動では個別に就職活動を支援しており、専門の教員と専任の就職担当者が個別にサポートすることに専門職の内定率を上げるよう体制を整えている。保護者やご家族様も含めた三者面談、四者面談など実施している。少人数制による授業システムで学生相談も定期的の実施され学生を支援している。産学連携でご協力いただいている企業様の他新規求人開拓も日々行っている状況。

## 【今後の改善及び学校関係者評価について】

就職先企業との定期的な連携の他、協力企業とつながりを持ち、今後引き続き就職支援に努めていく。卒業した学生もフォロー対象として静岡県内での地域密着による学校運営を強化する。

## 7. 管理・運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・理事会・評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	4 ③ 2 1
・理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	4 ③ 2 1
・就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	4 ③ 2 1
・就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	4 3 ② 1
・組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	④ 3 2 1
・消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4 ③ 2 1
・個人情報保護法を遵守しているか	④ 3 2 1
・セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4 ③ 2 1
・財務分析比率は適切な数字になっているか	4 ③ 2 1
・学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	4 3 ② 1

## 【成果と課題について】

昨年度から今年度にかけて、電気の高圧設備の改修、校舎の外壁防水工事、階段のタイル張替などを行うことができた。  
現在、理事、評議員に欠員があるので補充しなければならない。  
 諸規定はあるが、定期的に見直しをしていないものもあるので現在の実情に合っていないところもあると思われる。

## 【今後の改善及び学校関係者評価について】

来年度には役員の任期も切れるので役員改選をしなければならない。  
 諸規定の見直しも行っていきたい。  
 今年度は学校の財務情報の公開ができていないが、来年度には公開できるように準備を進めている。



令和元年度 学校評価実施報告書

専門学校ノアデザインカレッジ

## 専門学校ノアデザインカレッジ 学校関係者評価委員会

日 時：令和2年6月17日（水）15：00～17：00

場 所：専門学校ノアデザインカレッジ

### 出席者：学校関係者評価委員会

委員長 青山 達弘【株式会社 青山建材工業 代表取締役】

委員長 池田 達哉【特別養護老人ホームこもれび 施設長】

委員長 宮田 博文【有限会社ミヤタ印刷 専務取締役】

### 専門学校ノアデザインカレッジ教職員

教職員 藤江 通昌【校 長】

教職員 白瀧 真之【専門コース長】

教職員 井ノ本 貴浩【教務担当】

教職員 西子 清英【就職進路担当】

事務局 片岡 史子【事務局担当】

## 第三者委員会議事録

会議名	学校関係者委員会（第1回）
開催日時	令和2年6月17日(水)15:00～17:00
場 所	専門学校ノアデザインカレッジ 会議室
出席者	<p><b>出席者：学校関係者評価委員会</b></p> <p>委員長 青山 達弘 【株式会社 青山建材工業 代表取締役】          委員長 池田 達哉 【特別養護老人ホームこもれび 施設長】          委員長 宮田 博文 【有限会社ミヤタ印刷 専務取締役】</p> <p>（計3名）</p> <p><b>専門学校ノアデザインカレッジ教職員</b></p> <p>教職員 藤江 通昌 【校 長】          教職員 白瀧 真之 【専門コース長】          教職員 井ノ本 貴浩【教務担当】          教職員 西子 清英 【専任教員・就職進路担当】          事務局 片岡 史子 【事務局担当】</p> <p>（計5名）</p> <p style="text-align: right;">（参加者合計8名）</p>
議題等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校長挨拶及び趣旨説明 藤江学校長</li> <li>2 委員及び事務局紹介 事務局</li> <li>3 学校関係者評価事業計画の説明（説明：専門コース長）              事業計画の内容と年間スケジュール、実施予定内容について、              資料に基づき説明</li> <li>4 自己評価項目及び基準、これまでの課題と改善点の要約説明</li> <li>5 意見交換              説明についての質疑応答、評価実施に関することや今後の進め              方など</li> </ol> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

別紙 学校評価にて概要記述